



ごあいさつ

おぎはら隆宏です。皆様には日頃大変お世話になり心より御礼申し上げます。早いもので、甲府市議会議員として2期目の任期を与えていただいてから3年近く経過しようとしております。この期間、経済建設委員会委員長や環境水道委員会委員長を勤めさせていただき、市政推進に全力で取り組んでまいりました。特に昨年は市制施行120周年の節目を迎え、甲府の歴史と伝統に対して改めて認識を深めるなか、更なる市制発展に向けて決意を新たにしたところであります。

さて、昨年は政権交代が行われた歴史的な年でもありました。「地域主権」を掲げる鳩山内閣の誕生は我々地方自治体にとって歓迎すべきものであり、国の形そのものを抜本的に改める機会が到来したものと受け止めております。内閣府には「地域主権戦略会議」が設置され、地域のことは地域に住む住民が決める「地域主権」の実現を目指して力強く歩き始めたところですが、新たな自治システムの中に地域間格差の是正策を如何にビルトインしていくかが今後の大きなテーマとなるでしょう。

徳富蘆花は「思い出の記」のなかで「国家の実力は地方に存する」と述べております。「東京一極集中を排して地域間格差の是正を行い、地方色豊かな真の分権型社会を創る」、このことが日本国家の発展と国民の確かな未来へと繋がっていくとの信念で、今後も議会活動並びに日々の政治活動に全力を傾注してまいります。どうか皆様方には変わらぬ御指導と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

確かな未来を創るために



2009年市政報告

2009年を振り返ってみますと、前年の米国発の金融危機から始まった世界同時不況の余波を受けて、我が国経済も未曾有の危機に直面した年でありました。県内においては、特に輸出関連の製造業に対する打撃が大きく、雇用や所得環境も大幅に

悪化するなど、極めて深刻な事態に直面致しました。

こうしたなかで、国においては4月に麻生内閣による「経済危機対策」、12月には政権交代を果たした鳩山内閣による「明日の安心と成長のための緊急経済対策」を実施するなど、景気対策を最重点課題として取り組んできたということが出来ます。

一方、地方自治体にとっての最重点課題は「雇用対策」であったと考えております。市民、県民の皆様如何にして就労の機会を確保し家計を守っていただくか、このことが甲府市政最大の課題であるとの認識のもと、2009年3月定例会、予算委員会、9月の決



算審査特別委員会等の場を通じて訴えてまいりました。

このほか特に力を注いだものとして、景気対策、消費者行政の充実強化、ふるさと納税の活用、シティーセールスの強化、公共交通の充実強化などです。

2010年も日本経済は厳しい状況が続くと思われませんが、国においては経済の成長戦略の基本方針を決定し、強力に推進していくことになっております。成長戦略の大きな柱として、環境、健康(医療・介護)、観光が挙げられていますが、山梨県はもとより甲府市においても比較的恵まれているこれらの資源をいかして、新しい時代を皆様と共に創っていききたいと思います。



## 『県産材保育園』づくり発表会



平成22年2月5日、南アルプス市の木の国サイト情報館で行われたイベント「『県産材保育園』づくり発表会」に参加しました。

子育て支援センターちびっこはうすの宮沢由佳理事長からは「ちびっこはうすと県産材の出会い」について、また山梨の木で家をつくる会会長の山中貞行さんから「県産材の意義」についてのお話を伺いました。

ウッドマイレージ、自然環境、地域雇用などの観点から県産材活用の意義は本当に大きいのですが、内外価格差(概ね2割高)や品質管理(品質の数値化やトレイサビリティの仕組みづくり)など課題も多いと感じました。

しかしながら、政府の森林政策では木材自給率50%達成を掲げておりま  
すし、国産材利用の意義については広く国民に共有されつつあります。山梨  
県としても国の施策と歩調を合わせて適切な支援策を展開していくことで、  
県産材の利用率UPにつながっていくものと期待されます。



## 東京ガス 千住研究所~テクノステーション~・根岸工場・地域冷暖房視察



平成22年2月15、16日の2日間、燃料電池の開発動向とそれに関連する施設を視察してきました。

最初に伺ったのは、東京都荒川区にある東京ガス千住研究所 テクノステーションです。こちらでは燃料電池についての説明をいただき、水素ステーションや燃料電池設置モデル住宅を見学させていただきました。また、燃料電池自動車にも試乗させていただきましたが、パワーや加速はガソリンエンジンを凌ぐほどで、乗り心地も快適でした。写真右側のトヨタ車に試乗させていただきました。

二日目の午前中は横浜市磯子区の東京ガス根岸工場を視察させていただき、天然ガスの生産実態やLNG(液化天然ガス)の冷熱利用について説明を受けました。環境負荷や供給安定性についての天然ガスの優位点についてお話いただきました。

LNGのもつマイナス162 という冷熱エネルギーは、冷熱発電や液体炭酸ドライアイス製造、超低温倉庫などに利用されています。冷凍マグロ用にマイナス60 に保たれている超低温倉庫にも入らせていただきましたが、份前後で限界を感じて外に飛び出しました。日本の冬が本当に暖かく感じられた瞬間でした。



二日目の午後は新宿へ移動し、地域冷暖房施設を見学いたしました。昭和46年に新宿新都心地区の冷暖房を一手に担うために開設された同施設は、現在では供給延床面積220万㎡、供給区域面積33.2haを誇る世界最大級の地域冷暖房センターになっています。

地域冷暖房施設は省エネや環境負荷の削減などに優れていますが、既築の建物への導入が進みにくい点が難点です。

## 「オギタイ」発刊について

従来は不定期で「後援会会報」を発行しておりましたが、この機会に「おぎはら隆宏Times(オギタイ)」と名前と体裁を改めて再スタートをすることに致しました。従来より紙面は半分程度とコンパクトになりますが、その分発行回数を増やして身近なテーマから国政に関することまでタイムリーな話題を提供していく所存です。また、ホームページも現在大幅なりニューアル作業をしているところです。紙面ではどうしても字数等の制限でお伝えしきれないところをカバーしていきたいと思っています。こちら併せて御期待ください。